

各 位

会 社 名  
コード番号  
問い合わせ先

平成14年7月25日  
富士電機株式会社  
6504  
広報室長  
福永 忠廣  
TEL (03)5435 - 7206

## 平成15年3月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年4月26日の決算発表時に公表した中間期の業績予想を下記の通り修正致します。

### 記

#### 1. 15年3月期連結中間期業績予想数値の修正（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年4月26日発表)	370,000	13,500	8,000
今回修正予想(B)	370,000	15,500	11,000
増減額(B - A)	0	2,000	3,000
増減率	0.0	14.8	37.5
前年同期実績 (平成14年3月期中間期)	362,832	12,627	9,971

#### 2. 15年3月期単独中間期業績予想数値の修正（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年4月26日発表)	195,000	4,000	2,500
今回修正予想(B)	195,000	5,000	3,500
増減額(B - A)	0	1,000	1,000
増減率	0.0	25.0	40.0
前年同期実績 (平成14年3月期中間期)	189,845	1,630	774

#### 3. 業績予想修正の理由

最近の経営環境は、半導体市場において、一部回復の兆しが見られるものの、民間設備投資や個人消費の低迷などによる国内市場の回復遅れが大きく、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、売上高は、連結および単独ともに本年4月26日に発表した中間期の業績予想通りとなる見込みです。一方、損益は、国内市場低迷の影響を強く受けている「電機システム」部門および「機器・制御」部門、ならびに自動販売機業界の低迷による「流通機器システム」部門が悪化するなか、「電子」部門は、電子デバイスを中心に好調に推移しており、営業利益はほぼ計画通りです。しかし、急激な円高による営業外損益の悪化、ならびに事業構造改革の加速に伴う追加の特別費用の発生などにより、経常利益および当期純利益は、残念ながら計画を下回る見通しで、今中間期の連結および単独の業績予想を下方修正することと致しました。

なお、上期の前提となる対米ドル平均相場円レートは、前回125円/ドルで見えておりましたが、第2四半期は115円/ドルで想定しております。

#### 【注記事項】

上記の業績見通しは、市場における当社製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以 上